

日本学生支援機構奨学金 「貸与継続願提出」説明資料



埼玉大学 奨学支援担当係

この資料は、埼玉大学に在籍する日本学生支援機構の貸与奨学生を対象としています。

学部生・大学院生、共通の資料です。

「継続願」提出対象となっている方は、この資料をよく確認して手続を行ってください。

はじめに

奨学生に採用されても、卒業・修了するまで
奨学金を受ける場合は、**年1回、継続の意志**
の確認のため、「奨学金継続願」の提出が必
要です。その後大学による適格認定が実施さ
れ、学業成績から奨学金の継続可否を審査し
ます。

日本学生支援機構（JASSO）の奨学金情報システム
「スカラネット・パーソナル」からWeb上で提出します。

提出締切：1月31日



対象者には、
CampusSquareで提出を
ご案内しています！
※給付奨学金との併給調整により第一
種月額「0円」の方も提出が必要です。

以下に該当する方は提出不要です。
・休学中の方
・今年度11月以降の奨学金採用者
・今年度末で奨学金が満期終了する方
※メッセージが届いていなければ提出不要



日本学生支援機構の奨学金について「継続願」提出の説明を始めます。

奨学生へ採用されても、卒業するまで継続して奨学金を受けるためには、年一回の「奨学金継続願」の提出が必要です。

みなさんが「奨学金継続願」を提出した後は、大学による学業成績の適格認定が実施され、奨学金の継続可否を審査します。

継続願は、日本学生支援機構の奨学金情報システムである「スカラネット・パーソナル」からWeb上で提出します。

提出期限は**1月31日**です。

なお、奨学生すべてが提出対象となっているわけではありません。

休学中の方や満期終了の場合は提出する必要はありません。

提出対象となっている方には、CampusSquareで継続願提出の案内掲示を送信しています。

連絡が届いた方は必ず提出してください。

手続きの流れ

スカラネット・パーソナルから
「貸与額通知」の内容を確認



「『奨学金継続願』入力準備用紙」に記入

※学部生・院生でそれぞれ用紙が異なります。



スカラネット・パーソナルから
「奨学金継続願」を提出（入力）



スカラネット・パーソナルを登録していない方は、
継続の手続を行う前に新規登録してください。
登録方法は下記JASSOサイトを参照願います。

https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/sukara_ps/edit.html



まず手続の大まかな流れです。

最初に、スカラネット・パーソナルの奨学金継続願提出のメニューにある貸与額通知の内容を確認してください。

次に、入力準備用紙を手元に用意し、必要事項をすべて記入します。実際の入力もこの内容に沿って行われますので、その準備になります。用紙への記入が済みましたら、スカラネット・パーソナルでweb申請します。

まだ「スカラネット・パーソナル」に登録していない方は至急新規登録ください。登録をしていないと継続願の入力ができません。継続願の提出期限間際になると、アクセスがうまくいかず、登録ができないこともあるので早めに済ませるようにしてください。

貸与額通知の内容はしっかり確認しておいてください。

人的保証の方は、帰省する機会等に連帯保証人や保証人にも確認してもらうようにしてください。

スカラネット・パーソナルへログイン

スカラネット・パーソナルログインページ

<https://scholar-ps.sas.jasso.go.jp/mypage/>



独立行政法人
日本学生支援機構
Japan Student Services Organization

スカラネット・パーソナル

スカラネット・パーソナルへようこそ (スカラネットPS)

スカラネット・パーソナルの登録について

- ご利用には各個人でアカウントの新規登録が必要です。奨学金の申込み時や進学届提出時のスカラネットとは異なります。
- 現在、奨学金を貸与・給付・返還中の方はいつでもスカラネット・パーソナルに登録できます。

スカラネット・パーソナルを活用すると

- 第二種月額変更（減額）額の提出ができます。
- 転居・改姓・勤務先変更等の届出ができます。
- 振替用口座（リレー口座）登録・変更申込ができます。
- 線上返還の申込ができます。
- 在学届予願・在学届予定期限延長の提出ができます。
- 各種証明書の発行依頼ができます。
- あなたの奨学金情報の閲覧・確認ができます。
- 奨学金減額返還額・奨学金返還期限猶予願の提出、また

ログイン・新規登録は、下の「ログイン・新規登録」ボタンを押してください。
(ユーザID・パスワードを忘れた方も下の「ログイン・新規登録」ボタンを押してください。)

ログイン・新規登録

スカラネットPSの登録手順・利用条件の詳細は、下の「登録手順・利用条件」ボタンを押してください。

登録手順・利用条件

スカラネットPSの利用規約は、下の「利用規約」ボタンを押してください。

独立行政法人
日本学生支援機構
Japan Student Services Organization

スカラネット・パーソナル

ユーザIDとパスワードの登録をしている方

ユーザID： 半角英数
パスワード：

ログイン

まだユーザIDとパスワードの登録をしていない方

初めてスカラネットPSに登録する方は、「新規登録」ボタンを押してください。

ユーザIDまたはパスワードを忘れた方は、「ユーザID・パスワードを忘れた場合」ボタンを押してください。

ユーザID・パスワードを忘れた場合

ユーザID・
パスワードを忘れた場合

ユーザID、パスワード（※）を用いて、
スカラネット・パーソナルにログイン
※新規登録時に任意で決めたもの

では、実際に、奨学金継続願の申請手順を見ていきます。
スカラネット・パーソナルは登録済みの前提で説明を進めます。
まずははじめに、新規登録時にみなさんが決めたユーザIDとパスワードを用いてログインします。

継続願入力トップページ

前回ログイン日時：20XX年01月08日 12時00分00秒

スカラネットPS 奨学金貸与・給付・返還情報提供サービス

全体概要 詳細情報 各種手続 **奨学金継続願提出** 個人情報

適格認定奨学金継続願提出

【適格認定奨学金継続願を提出されるかたへ】

この願出は次年度の奨学金の継続の意思を確認するための大切な願出です。
必ず学校の定めた期間内に提出してください。

提出がありませんと奨学生の資格を失うことになりますのでご注意ください。
事実と異なる内容を入力し提出した場合は、奨学金が廃止されることがあります。

＜貸与型奨学生のかたへ＞

奨学金貸与終了後は、返還の義務が生じ、一定期間経過後に毎月決められた金額を返還していくことになります。貸与月額と返還総額（予定）等を確認し、家庭の経済状況や、卒業後の生活設計を十分考慮のうえ提出してください。

なお、「貸与額通知」は、人的保証選択者は連帯保証人及び保証人にも必ず届いたた
き、内容を確認してもらってください。また、未成年者は必ず親権者（後見人）に
内容を確認してもらってください。

＜給付型奨学生のかたへ＞

学修状況や生活状況から、給付型学生として採用されるか否か等について認定されます。
認定結果によっては、給付奨学金の支給が廃止されることがあります。

また、状況によっては受給済みの給付奨学金に

給付奨学金（新制度）の「給付奨学金継続願」の提出を行なうことができます。

● 奨学生番号ボタンを押すと、奨学金継続願提出を行なうことができます。

● 複数の奨学生番号がある場合は、これらの奨学生番号について入力が必要です。
表示されていない奨学生番号の場合は、場合やその他不明な点は、学校に問い合わせてください。

貸与（一種）

6XX04999999 [貸出済] [貸与額通知1] [継続希望]

貸与（二種）

8XX04999999 [貸与額通知2]

ご登録いただきました情報は、奨学金貸与・給付事業のために利用されます。
この利用目的の適正な範囲内において、登録された情報が、奨学金貸与・給付中に在学する学校に必要に応じて提供されます。

提出しないと、来年度から来年度から奨学生としての資格を失います！



奨学生番号が2つ表示されている方は、それぞれの番号で入力が必要です。（2回入力することになります）

ログイン後、「奨学金継続願提出」のページに移動しましょう。

【適格認定奨学金継続願を提出されるかたへ】には大切な説明が記載されています。必ず内容を確認してください。

このページで「奨学生番号」をクリックすると「継続願」の提出を行うことができます。

みなさんの中には、第一種と第二種、両方の奨学金を併用貸与している方がいると思います。

併用貸与の方は、**それぞれの奨学生番号で提出が必要です。**

「1つの奨学生番号で提出をしたので提出が完了した」とは考えないようにしてください。

提出していない方は、来年度から奨学生としての資格を失いますので注意しましょう。

翌年度継続確認

D-奨学金振込みの継続の確認

継続希望者は必ず
「希望します」を選択

あなたは継続願を提出して引き続き4月からの奨学金の振込みを希望しますか。

※家庭の経済状況や卒業後の生活設計を十分考慮してご判断ください。

奨学金の継続を希望します

奨学金の貸与を継続して希望する方は、「貸与額通知」の貸与額を、連帯保証人(人的保証選択者)または親権者(後見人)の方と確認してください。

奨学金の継続を希望しません

奨学金の貸与を継続して希望しない方は、この画面を送信することにより在学学校長を経て辞退の「異動届」を提出したるものとみなし、3月で貸与が終了します。

継続を希望しない場合は「希望しません」を選択



選択を誤らないよう、ご注意ください！

「希望しません」を選択すると4月以降奨学金は振り込まれません。



ここから先は、各設問の注意点をお話ししていきます。

奨学金を来年度も継続したいかどうかの意思確認があります。継続希望者は必ず「希望します」を選択してください。もし間違えると、来年度に奨学金貸与を受けることができなくなります。なお、「来年度は奨学金は必要ない」という方は、「継続を希望しません」を選択するようにしてください。3月まで貸与され、4月以降の奨学金は辞退となり、振り込まれなくなります。

しかし、安易にもう貸与は必要ないと、継続を「希望しません」を選択する方がいます。後日やっぱり生活が厳しいので再び申込みをしたとしても、基本は年に2回、春と秋にしか申込みができません。家庭の経済状況や成績によっては同じ種別での採用が適わないこともあります。借りているお金なので返済が心配で辞退するのは良いことですが、卒業・修了時まで生活に困るような事態にならないよう、家族と相談して決めるなどを心がけてください。

住所変更があった方

「はい」を選択のうえ、変更後の住所を入力します

E - あなたの返還誓約書情報

あなたの返還誓約書情報は、以下の内容で登録されています。

あなた自身の住所等に変更がある場合には、この「住所を変更する」ボタンを押して変更後の住所等を入力してください。
それ以外の情報に変更がある場合には、学校に届出てください。

はい
 いいえ

住所を変更する

あなた自身の情報

住所	〒162-0845 東京都 新宿区 市谷本村町 10番7号
電話番号	03-0000-0000
携帯電話番号	090-0000-0000



JASSOだけでなく、別途
大学へ住所変更の届出が
必要です。
CampusSquareを確認
し、登録情報を更新しま
しょう。

住所変更があった方への注意事項です。

継続願で本人住所のみ更新することができます。本人の住所変更以外に変更がある場合は、奨学支援担当へ申し出てください。ただし、電話・携帯番号や勤務先のみの変更は不要です。

また、奨学生情報としてJASSOへ住所変更を届け出るのに加え、**大学へ登録されている学生情報も更新が必要です。本人住所の変更は、CampusSquareから行います。**保証人住所の変更は、所属学部（大学院）係の窓口へ申し出てください。

なお、学部生第一種奨学金で自宅→自宅外、自宅外→自宅のような通学区分が変更される転居の場合は、**奨学支援担当へ届け出てください。**通学区分により月額が変わるために、速やかに手続を行う必要があります。

返還義務等の確認

F-返還の義務

返還の義務について 「自覚している」を選択

奨学金制度は、意欲と能力のある皆さんが経済的に自立し、自らの意思と責任により学生生活
また、貸与された奨学金は返還する義務があります。先輩奨学生の返還金が、直ちに後輩奨学生の資金として活用されています。
なっており、返還金が確実に返還されないと、次代の奨学生の採用に重大な支障をもたらすことがあります。
奨学生ひとりひとりがこのような制度の仕組みを理解し、責任をもって返還するこが重要です。

- 返還の義務を自覚している
- 返還の義務を自覚していない

G-学業不振の場合の処置

学業不振の場合の処置について 「理解している」を選択

以下のいずれかに該当する場合は、奨学金の交付について「廃止」(または「停止」)の処置がなされます。

- 卒業延期が確定した(または卒業延期の可能性が極めて高い)場合
- 当年度の修得単位(科目)数が皆無の(または極めて少ない)場合

- 学業不振の場合の処置について理解している
- 学業不振の場合の処置について理解していない



「自覚している」「理解している」を選択しない場合、
次の画面へ進むことができません。

次に、返還の義務と、学業不振の場合の処置について理解しているかを確認されます。

日本学生支援機構は、条件さえ満たせば奨学金を希望する学生には貸してくれます。

しかし、返還の義務を自覚していない学生に、日本学生支援機構は奨学金を貸してはくれません。同様に、学業をおろそかにする学生に対しても、貸してはくれません。

それを踏まえたうえで、引き続き貸与を希望する場合は、返還の義務については、「**自覚している**」を、学業不振の場合の処置については、「**理解している**」を必ず選択してください。

どちらについても、例年間違える方がいます。
特に返還の義務については大変重要です。

奨学金は「借金」ですので、慎重に入力してください。

返還義務と責任

当然のことですが…

貸与奨学金 = 借金 = **返還義務がある**

もし返還をしなかったら…

- ・年5%の延滞金賦課
- ・個人信用情報機関への登録
 - クレジットカードが使えない
 - ローンを組めない
- ・法的措置



返還したお金は、次に借りる方の財源となります。
返還の義務を再確認してください。

ここで「返還の義務と責任」の重要性について説明します。

日本学生支援機構の奨学金は、みんなが返還したお金が後に借りる方の奨学金の財源となります。

そのため、もし返還が滞ると、年5%の延滞金が付き、個人情報信用機関へ登録され、最後には法的措置が取られてしまいます。

実際、埼玉大学出身で奨学金を延滞している方もおり、決して他人事ではありません。

まだ返還は先のことですが、いまのうちから**返還の義務があると自覚を持ったうえで奨学金を借りましょう。**

収支の入力

収入

あなたの前年度12月から今年度11月の収入に関する金額を記入してください。(必須)

(注1) 収入に関する金額がわからない場合は右上の「×」ボタンを押してこの画面を閉じ、確認後最初からやり直してください。
(注2) 1万円未満は切り捨てて入力してください。

1) 家庭からの給付
(家庭が支払った授業料・施設費などの学校納付金を含む)

半角数字
万円

2) 日本学生支援機構の奨学金
※貸与額通知に記載されている振込額の合計が表示されています。

半角数字
80.00 万円

3) 日本学生支援機構以外の奨学金

半角数字
万円

4) アルバイト等収入

半角数字
万円

5) その他(貯蓄等を取消した額や臨時収入等)

半角数字
万円

収入合計(自動計算)
80.00 万円

支出

あなたの前年度12月から今年度11月の支出に関する金額を記入してください。(必須)

(注1) 支出に関する金額がわからない場合は右上の「×」ボタンを押してこの画面を閉じ、確認後最初からやり直してください。
(注2) 1万円未満は切り捨てて入力してください。

1) 学費(授業料・施設費などの学校納付金等を含む)

半角数字
万円

2) 修学費(教科書・図書費・文具購入費・課外活動費・通学費等を含む)

半角数字
万円

3) 食費(外食費用)

半角数字
万円

4) 通信費(携帯電話等の通信費を含む)

半角数字
万円

5) その他(医療費・娯楽・嗜好費等)

半角数字
万円

6) 機関保証制度の保証料
※100円未満は切り捨てて表示されています。

半角数字
0.00 万円

支出合計(自動計算)
0.00 万円

あなたの前年度12月から今年度11月の収入と支出の差額は、以下の金額になります。確認してください。

収入合計 - 支出合計

80.00 万円



借り過ぎだと思ったら…
貸与月額を減額できます!
・第一種→奨学支援担当へ申し出
・第二種→スカラPSから申請

自動計算される収支差が大きい場合は
貸与月額の減額を検討しましょう

ここでは、学生本人の収入と支出の入力が必要なのですが、**自動計算される収支の差額が大きい場合は、奨学金借り過ぎの可能性がありますので貸与月額の減額をご検討ください。**

減額の手続については、第一種は奨学支援担当へお申し出ください。第二種はスカラネット・パーソナルから各自で減額申請を行います。なお、入力の際は金額計算ミスによる収入オーバーとならないようご注意ください。

受付番号のメモ、提出確認

継続願の入力が終わると、受付番号が出力されます。

受付けました。
あなたの受付番号は **10999001-04-000777** です。

奖学金継続願提出完了

必ずメモをとってください

入力準備用紙

！！！必ず記入してください！！！
あなたの受付番号は(16桁) **1 0 9 9 9 0 0 1 — 0 4 — 0 0 0 7 7 7**

受付番号は問合せの際に必要となります
（アカウント登録時に提出した受付番号）

終了します

・獎学生番号ボタンを押すと、獎学金継続願の提出を行うことができます。
・複数の獎学生番号がある場合は、それぞれの獎学生番号について入力が必要です。
表示されていない獎学生番号がある場合やその他不明な点は、学校に問い合わせてください。

6XX04999999 (提出済:絶続希望) 貸与額通知1
8XX04999999 貸与額通知2

ご登録いただきました情報は、獎学金貸与・給付事業のために利用されます。
この利用目的の適正な範囲内において、登録された情報が、獎学金貸与・給付中に在学する学校に必要に応じて提供されます。

トップページへ戻り、「提出済」となっているか確認してください

獎学生番号ごとの継続願の入力が最後まで終わると、受付番号が出力されます。

この受付番号は、必ずメモなどをとって保管してください。

何かあった時の問い合わせに、必要になってきます。

受付番号のメモを取ったところで継続願の提出は完了ですが、最後に、もう一度「継続願」のトップページを確認してください。

すでに提出を終えている場合は、「提出済」と表示されます。

第一種と第二種の奖学金を併用している方は、特にこの確認を忘れずにしてください。

まとめ

提出締切：1月31日

期限までに
継続願を提出しない場合も
継続不可！

注意

継続希望

希望
しない

返還義務

自覚して
いない

学力不振時の処置

理解して
いない

来年度継続
不可!!!

収支差

差額が大きい場合

貸与月額の
減額検討を！



併用者は2回
提出することを
忘れずに！

受付番号メモ、
提出確認も忘
れずに！



それでは、今までの説明事項のまとめです。

「継続願」の提出期限は1月31日です。

以下、注意点です。「継続を希望しない」、「返還の義務を自覚していない」、「学力不振時の処理を理解していない」を選択した場合は、来年度奨学金を継続することができません。

継続希望であっても成績状況などによっては奨学金打ち切りとなる場合もありますので、予め理解しておいてください。期限までに継続願を提出しない場合も、3月までで奨学金廃止となります。

収支の差が大きい場合、借り過ぎの可能性がありますので貸与月額の減額をご検討ください。

また、併用者はそれぞれの奨学生番号で提出しなくてはいけないことや、受付番号のメモ、提出したかどうかを最後に確認することも忘れずにしましょう。

継続願の提出は、12月16日から可能です。期限内であれば提出後の入力内容訂正は可能ですが、なるべく誤入力のないよう注意してください。

リンク集

準備用紙ダウンロード

▼貸与(学部)



▼貸与(院)



準備用紙のうち、正しいものを選択しましょう



スカラネット・パーソナル

▼ログイン・新規登録



はじめて登録する方は
こちらも参照ください



▼登録方法|JASSO



このページにリンク先をまとめました。

◆継続願「準備用紙」ダウンロード

ダウンロードする準備用紙を間違えないよう注意してください。学部と大学院で異なります。

◆スカラネット・パーソナル

初めて登録する方は、JASSOサイトより「登録方法」をご参照ください。

奨学金を申し込んだ際のスカラネット登録とは異なりますのでご注意ください。なお、スカラネット・パーソナルは貸与中だけでなく貸与終了後に返済が完了するまで利用することになります。

以上で説明を終わります

継続願の入力内容や、成績
による奨学金継続の可否
判定について大学から電
話連絡することがあります！
CampusSquareも要確
認です！



▼お問い合わせ先

埼玉大学 学生支援課 奨学支援担当係
窓口 … A10 全学講義棟1号館 1F
学生センター
※平日8:45～16:45
電話番号 … 048-858-3033
※平日9:00～17:00(12:15～13:15は窓口のみ)

以上で説明を終わります。

お問い合わせは奨学支援担当までお願いいたします。

入力内容によっては記載の番号から電話連絡を行う他、
CampusSquareで照会します。

継続願で住所変更をした方で、大学への届出住所に相違がある場合
も、メッセージにてご連絡します。

提出した後も、当係から連絡がないか、着信履歴やCampusSquare
を隨時確認するようにしてください。